

## ■指標と目標 達成状況

### ◇基準年と実績数値

二酸化炭素排出量のみ、基準年度、実績数値の年度が違います。その他は、基準年度を平成 19 (2007) 年、実績値は平成 24 (2012) 年度になっています。また、「ごみ排出量」については、平成 23 年度に策定された「ごみ半減プラン (生駒市廃棄物処理基本計画)」の目標にあわせ、目標値を改定しています。

#### 指標 1 二酸化炭素排出量 基準年 平成 18 年度、実績数値 平成 22 年度 目標年 平成 30 年度

目標	全市域での二酸化炭素排出量 (28.7 万 t-CO <sub>2</sub> ) を 14%削減し、24.7 万 t-CO <sub>2</sub> にする。		
達成状況	二酸化炭素排出量	26.6 万 t-CO <sub>2</sub> (目標 24.7 万 t-CO <sub>2</sub> )	達成率 52.5%

京都議定書の採択以降も増加傾向にあった二酸化炭素ですが、平成 23(2011)年 3 月に発生した東日本大震災と福島第一原発の事故の後、節電を求める社会情勢のなか、生駒市においても市民、事業者、行政をあげた取り組みの成果として排出量が減少しています。引き続き、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの普及や、省エネ、効率的なエネルギー利用に関する情報発信を続けていきます。

#### 指標 2 ごみ排出量 基準年 平成 19 年度、実績数値 平成 24 年度 目標年 平成 30 年度

目標	家庭系ごみ排出量	1 人 1 日あたり排出量 (673.2g/人日) を 15%減らし、570.0g/人日にする。	
	家庭系ごみ再資源化率	16.84%を 30.0%に向上させる。	
	事業系ごみ排出量	9,128t/年を 6,721t に削減する。	
達成状況	家庭系ごみ排出量	612 g/人日 (目標 570.0g/人日)	達成率 59.3%
	家庭系ごみ再資源化率	19.57% (目標 30.0%)	達成率 22.2%
	事業系ごみ排出量	9,048t (目標 6,721t)	達成率 3.3%

平成 23(2011)年策定の「生駒市ごみ半減プラン」にもとづき、ごみ排出量の目標を変更しています。平成 24(2012)年 10 月から事業系廃棄物の有料指定袋制度が始まりましたので、削減効果があらわれるのは、これ以降になります。また、平成 26(2014)年度には、食品スーパーにおけるレジ袋有料化が実施され、家庭ごみ有料化の実施内容等の検討がすすめられるなど、計画の後半期にかけて、ごみ半減に向けた動きが具体化します。

#### 指標 3 公共交通 基準年 平成 19 年度、実績数値 平成 24 年度 目標年 平成 30 年度

目標	鉄道利用者 (19,210 人) を、現状維持から 0.5%増にする。		
	路線バス利用者 (5,078 人) を、10%増 (生駒駅、東生駒駅発着路線のみ) にする。		
	コミュニティバスなどの代替交通の新規路線を複数ルート実現		
達成状況	鉄道利用者	18,548 人 (目標 20,171 人)	達成率 -68.9%
	路線バス	5,172 人 (目標 5,586 人)	達成率 22.2%
	代替交通の新規路線	4 路線実現 (目標 新規路線複数)	達成

基準年に対して鉄道利用者が減少しています。これは定年退職による通勤利用者の減少が、人口の増加を上回るといった生駒市の地域事情が反映しています。代替交通については計画時の 1 路線から 4 路線に拡充しました。今後も公共交通の利用呼びかけとともに、自転車マップの作成や、歩いて楽しいまちづくりなど、自動車以外の移動手段が選択しやすいまちを目指した活動をすすめます。

## 指標 4 河川水質

基準年 平成 19 年度、実績数値 平成 24 年度 目標年 平成 30 年度

目標	竜田川の水質が、観測 4 地点の年間平均で BOD (生物学的酸素要求量) 5 mg/L 以下になる。		
達成状況	平成 19 年度 → 平成 24 年度		
阪奈道路下	16 mg/L	12mg/L	達成率 35.5%
東生駒川合流前	10 mg/L	6.3mg/L	達成率 74.0%
大宮橋下	9.8 mg/L	7.8mg/L	達成率 41.7%
市境	8.0mg/L	3.6 mg/L	達成

平成 23(2011)年度以降、4 観測点のうち 1 カ所で、継続して環境基準を満たすなど成果があらわれています。今後も公共下水道の整備拡充で水質改善が期待されますが、竜田川に限らず、市内河川の愛護啓発、排水への配慮や投棄ごみの根絶など、河川環境の改善・向上につながる活動をすすめます。

## 指標 5 参加人数

平成 21 年度以降の累計 目標年 平成 30 年度

目標	生駒市環境基本計画推進会議が主催または共催する講座・行事の参加者が、平成 21 年度から 10 年間の延べ人数で、生駒市の総人口である 11.7 万人 (平成 19 年 10 月現在) になる。		
達成状況	24 年度までの参加人数	38,502 人	(目標 117,000 人) 達成率 32.9%

平成 21(2009)年度以降の 4 年間での参加者数は、目標の 33%でした。ただし、実質活動期間が 3 年半であったため、後半期の活動内容次第で十分目標達成可能な進捗だといえます。

## おもな成果



市内食品スーパー 11 社とレジ袋有料化一斉実施で合意 (先行実施店あり)。奈良県内初。写真は、レジ袋有料化協定調印式 平成 25 年 10 月 30 日。



太陽光発電普及のための市民ファンダ (一般社団法人市民エネルギー生駒) が設立された (太陽光発電応援団の活動から発展)。平成 25 年 10 月 26 日。



生駒市の中心を流れる竜田川の水質検査で、平成 23 年度以降、継続して環境基準を満たす観測点があるようになった。写真は、竜田川クリーンキャンペーンの光景。平成 25 年 10 月 27 日。